

議会報告会報告書

1. 開催地区名 戸賀地区

2. 開催日時 令和8年8月8日(土) 9時57分から11時20分まで

3. 出席議員 畠山 富勝(代表者) 鈴木 元章(職務代理者)
三浦 利通 古仲 清尚 猿田 真

4. 参加者数 8名

5. 意見・要望等

(1) 議会に対する事項

- ① 元議員が在任中から税金を支払わず、夜逃げしたという噂について、市議会としてどのようにけじめをつけるのか。

(2) 市政に対する事項

- ① 山あいだけでなく海辺にもクマの出没が相次いでおり、海水浴客等の人身被害が危惧される中、浜中・浜塩谷など戸賀湾周辺の緩衝帯整備(やぶの刈払い)も必要と考える。また、加茂青砂地区で出没した際に猟友会員が駆けつけていたが、市からの情報を共有できていない状況であった。総じて対策が後手に回っているように感じるが、森林整備を含めた現状におけるクマ対策の進捗について。
- ② 昨今の相次ぐクマ出没について、里山の荒廃が原因の一つであることは明確である。市長は「男鹿からクマを根絶させる」と公言しているが、この現状はどういうことなのか。
- ③ 少子高齢化や人口減少の影響が著しく、特に北部地区については地域コミュニティの維持ができなくなりつつある状況の中、「男鹿市総合計画」では、北部地区に不向きな計画となっており、非常に残念に感じている。また、「男鹿市公共施設等総合管理計画」では、北部地区の公共施設が順次縮小される計画

となっており、見捨てられるような気持ちになっている。市の財政事情は十分に理解するが、いずれも公平かつ公正な行政サービスという点において疑義が生じている。

- ④ 戸賀地区の要望事項については、比較的早い対応をしていただいております、財政事情に鑑みても、市はよく対処してくれていると感じている。県港湾事務所へ要望していた戸賀港防風林（飛沫防止帯）の松くい虫被害による枯損木伐採についても、住民説明会が開催される予定であり、ようやく今年度中に対応していただけることとなった。
- ⑤ 一段と厳しさを増している市の財政状況について、みなと市民病院への繰出金の影響も要因の一つではないのか。
- ⑥ 男鹿温泉郷をはじめとした宿泊施設の経営者とは、良好な連携が図られているのか。
- ⑦ 運行バス（主に男鹿北線）が車を持たない一人暮らしの高齢者にとっていかに大切な交通機関であるかを認識していただきたい。
- ⑧ 老朽化している公共施設は順次閉館する計画となっているが、歩いていける距離で文化的活動ができなくなるのであれば、閉鎖されたままの状態となっている「旧男鹿北中学校」を文化教室や学習サークルなど「集まる場所」にして、各施設を巡回するバスを運行すればよいのではないのか。「今のままの暮らしでよい」といった場所や時間の過ごし方を残していただけないか。
- ⑨ 「男鹿市総合計画」は未来を見据えた新しい展望ばかりとなっているが、最新や流行等に乗らなくてもよい暮らし方、要すれば「昨日と同じく今日も無事に1日を終えた。明日も無事な1日でありますように」という暮らし方を社会の片隅にでも残していただきたい。

6. 特記事項

■協議等が必要な事項

（１）議会に対する事項 な し

（２）市政に対する事項

5. （２）のうち、③、⑧の事項について